

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	峰の原高原地域(須坂地域) インバウンド受け入れ事業
事業主体 (連絡先)	峰の原高原観光協会
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,605,927 円 (うち支援金: 1,197,000 円)

事業内容

- ① 訪日外国人教育旅行向けパンフレット作成
誘客宣伝及び、受入れ体制を整えるための販売促進ツールとして中国語パンフレットを作成した。
(2015年11月)
- ② 台湾旅行者、高校関係者対象とした視察モニターツアーを実施
台湾台東地区を中心とした6校の高校関係者6名と旅行者1社1名を招聘し、峰の原高原のペンション宿泊体験、スキー体験、須坂市街地の体験メニューや須坂高校との学校交流を実施した。(2016年2月1日~2月4日)



(須坂高校学校交流)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① ペンションが交流できる宿泊施設としてアピールできた。
- ② スキー場や市街地での伝統料理体験や学校交流ができた事でオール須坂の連携が強化した。
- ③ 須坂市観光協会の中に体験メニューに特化した「須坂Me-u-L-i-f-e」を設立し、インバウンド向け商談会にも積極的に参加していく体制が整った。
- ④ 長野県観光部国際観光推進室のご協力もいただき、これからの台湾教育旅行誘致を須坂市として態勢を整える実感を得られた。
- ⑤ 台湾からさらに中国に向けた誘客活動が市全体で高まり、大連でのプロモーション事業や、スキー場研修などインバウンド事業の広がりにつながった。

【目標・ねらい】

- ① ペンション宿泊施設の周知
- ② スキー体験の魅力を周知
- ③ 須坂市街地との連携強化
- ④ 台湾教育旅行の誘致

※自己評価【 A 】

【理由】台湾教育旅行には欠かせない学校交流や地域産業連携がこのモニターツアーを通して実現できることが立証されたこと、現職の先生方との交流が継続しているので今後の教育旅行の可能性が極めて高く感じられるから。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

峰の原高原ペンション村、スキー場の受け入れ体制をさらに充実させる。交流のプログラム強化
須坂市内の学校や商店、文化施設等々との連携強化、須坂市観光協会と誘客活動強化
広域連携の一つとして近隣観光地との連携を行い、モデルプランの魅力アップを提案
須坂市オリジナル商品や、峰の原高原ブランドの開発

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある